

令和 7 年度学校関係者評価報告書

令和 8 年 2 月 16 日

今治市教育委員会教育長 様

今治市立西中学校長 中辻 拓

学校関係者評価について、下記のとおり報告します。

記

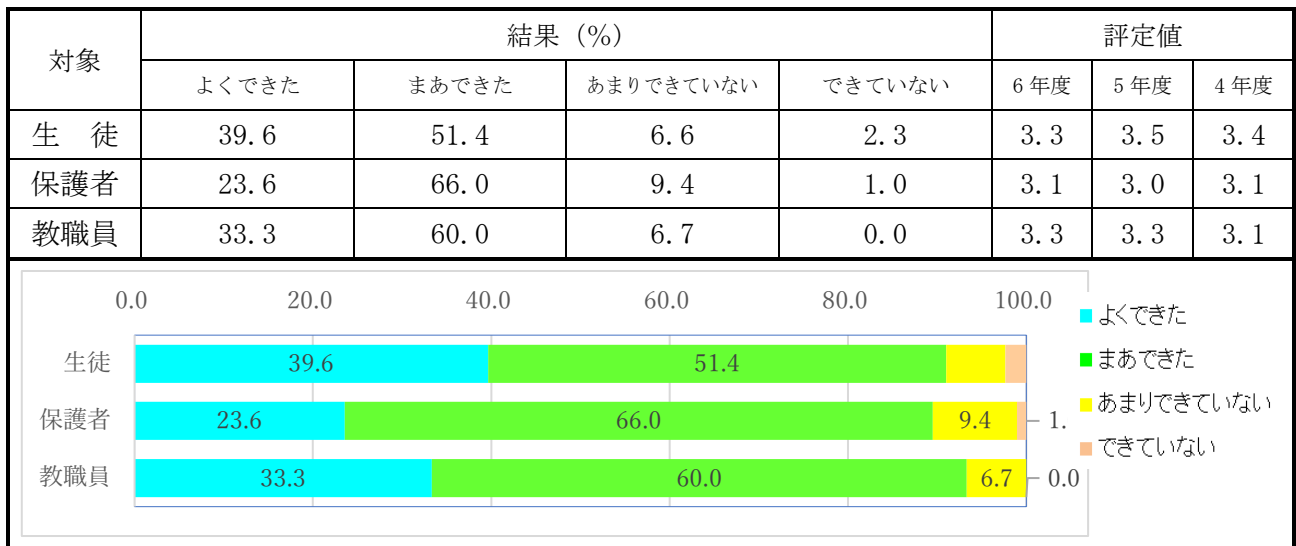
1 学校関係者評価の構成員

学校運営協議会委員 3 名、校長、教頭、主幹教諭、生徒指導主事

2 学校の教育目標の達成状況（概要）

(1) 教育目標 「自分らしさを発揮し、よりよく生きる生徒の育成」

(2) 達成状況



3 主な取組の課題と改善

- 令和 9 年度の新制服導入に向けて試作品（冬服）が完成し、冬服に準じた夏服等の検討を開始している。新制服の着用方法等の校則の見直しについても検討を開始しているところである。また、新制服導入に向けたジェンダー教育を全校生徒に向けて継続して実施した。しかしながら、学んだ知識を自分自身の生活に置き換えて考えたり、日常生活で実践したりするまでには至っていないことが課題である。引き続き、誰もが安心してありのままの自分で過ごすことができる学校生活となるよう、道徳科を中心とした人権教育の充実を図りたい。
- 保護者は、生徒の学習状況や自己表現力に不安を抱えていることが分かった。学力・学習習慣の二極化に課題が見られるため、学習委員会の生徒が中心となって学習方法のコツやテストの出題予想問題の作成など、学習に主体的に取り組みやすい環境づくりの工夫を行った。
- 伝え合う力を育成するために、各教科において自分の意見を伝える活動や学び合う活動を積極的に取り入れた。特に I C T 機器を活用し協働学習支援ツールを効果的に取り入れ、思考の可視化や共有化が図れるよう授業改善を重ねている。生徒が「分かる」「学びたい」と感じる授

業を実施できるよう、更なる工夫・改善を行っていく。

4 その他―学校運営協議会委員（学校評議員）による意見及び提案―

(1) サポートルームの利用状況を知りたい。

① 学年ごとの利用状況について

→ 1年生が2名、2年生6名、3年生7名の計15名が登録しており、毎日6人程度が利用することが多い。サポートルームに入りきらないときは、和室を利用するなど臨機応変に運営を行っている。

② 給食の実施状況について

→ 利用する生徒の状態に合わせ、給食を教室で食べる生徒、教室まで取りに行く生徒、友人に途中まで運んでもらう生徒、学級担任に運んでもらう生徒などがいる。生徒の気持ちを第一に考えて、できることを少しずつ増やしながら達成感を体験できるように配慮している。

③ 教室復帰できる生徒について

→ 教室復帰できる生徒は少数である。しかし、教室に入ることができない生徒にとっては大切な居場所となっている。また、サポートルームを利用する生徒の中にも学校生活や学習に対する意欲や姿勢には差があり、教職員は生徒の状態に焦ることなく支援を丁寧に行うことを心掛けている。

(2) 登下校の様子が心配な生徒がいる。

① 通学路以外の道を通る生徒について

→ 旧道は歩道がなく、通らないように日々指導を繰り返している。今後も継続して交通安全について指導を行っていきたい。

② 二人乗りをする生徒や道いっぱいに広がって歩く生徒について

→ 地域の住民として心配な生徒に声を掛けると、素直に応じてくれる。この声掛けで生徒たちの安全が守れるのであれば、これからも積極的に生徒たちへ声を掛けていきたい。

(3) 来年度の取組予定について

① 集金代行業者の利用は教職員の負担とならないか。

→ 初年度は不慣れなため対応に苦慮することが懸念されるが、現在、利用について教職員が研修を重ねている状況で、教職員の負担や作業量等についても検討していく。

② 通知表の簡略化は今治市内どの学校でも進んでいるのか。

→ 既に多くの学校が通知表を簡略化している。本校も今年度、簡略化に向けて教職員で何度も協議を重ねてレイアウトを作成した。なお、通知表を簡略化する代わりに学期末懇談会を2日から3日に増やし、生徒の良さを学校での頑張りを保護者に十分に伝えられる工夫を行っていく。

③ 成績一覧表を3年間通して成績の移り変わりが確認できるようにしてほしい。

→ 各学年で利用している成績一覧表を中学校3年間蓄積していくように教職員間で意識統一を図った。